

希望の種

ふくおか NPOファイル

21

社員が休憩時間などに食べる
ことができる「お菓子BOX」
が置いてあります。クッキー
を中心に、プレッツェルやマ
ドレーヌなどの焼き菓子が並
び、どれも1個100円。B
OXの横にある貯金箱に料金
を入れ、約2週間に1回の割
合で中身を補充する「置き菓
子」です。

北九州市八幡西区の企業

わくわーく

事務所=北九州市八幡東区▽電話番号=093(671)1221
メールアドレス=wakuwakuinfo@wakuwa-ku.com

のは、NPO法人「わくわーく」（北九州市八幡東区）の宮崎淳子さん（34歳）です。社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員等の資格を持つスタッフ5人で2010年に設立されました。主に精神障害のある人を対象にした障害福祉サービス事業所を運営しています。

地元産の野菜、みそやしょく（北九州市八幡東区）の宮崎淳子さん（34歳）です。社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員等の資格を持つスタッフ5人で2010年に設立されました。主に精神障害のある人を対象にした障害福祉サービス事業所を運営しています。

は、NPO法人「わくわーく」（北九州市八幡東区）の宮崎淳子さん（34歳）です。社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員等の資格を持つスタッフ5人で2010年に設立されました。主に精神障害のある人を対象にした障害福祉サービス事業所を運営しています。

55)は話しま
運営する事業
〇Xに菓子を
の一つ。なぜ、
渡す「A型」と、"授産"と
力がある人を対象に雇用契約
を結び、対価としての賃金を
お菓子も一緒
だけではな
呼ばれる仕事の訓練や能力開
発を行ひながら工賃を渡す
たのか。そこ
「B型」があります。特に「B
型」は収入を得ることが難し
く、14年の厚生労働省の調査
障害者就労継続支援事業に

向上を目指すため「お菓子BX」が始まりました。わくわーくの事務所は商店街近くのビル1階。市内の障害者や高齢者の手づくり商品を並べたガラス張りの店舗を併設し、地域の人々が立ち寄ることも少なくありません。商店街のイベントなどには積極的に参加し手伝うようにして

力を合わせて対等に

うゆ、老舗酒蔵の酒かすを材料に使い、独自開発したレシピの菓子は人気で、補充が間に合わず売り切れてしまう

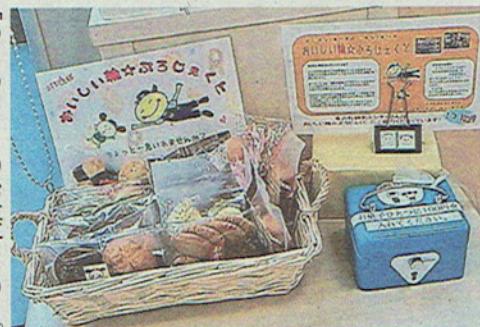
四三八

「でも、商品はまだまだ開発途上。形のばらつきが気に

なる、甘みが足りないなどの
注文も寄せられる。試行錯誤

しながら『障害者施設で作る
お菓子』ではなく『おいしい

お菓子』として広まることを
願っています」とスタッフの



によると、全国の1人当たり平均工賃は月額で1万483円。行政の支援や施設の努力で少しづつ向上しているものの、利用者本人や家族にとって将来に経済的な不安があるのが実情です。

することができるようになり、地域の人々も利用者を「障害者」ではなく、「○○さん」と認識してくれるようになるそうです。わくわくの目標です「障害のある人を含む地域の誰もが、心と身体が健

社会的な弱者として支援を受けるだけではなく、対等に

康で豊かに過ごせるまち』か
足元から少しづつ実現してい

尊嚴を持つて豊かに生きるため。「おいしい輪☆ふろじ

ます。(仮認定NPO法人「ア
カツキ」代表理事・永田賢介)

えくと」に参加している7施設も「B型」で、全体の収入

原則每週月曜掲載